AIREST®
Deodorization System

本体
A40F92-02
コントロールボックス
ACNT-02D

取扱説明書

目次

		ページ
準 備	安全上のご注意	2
	各部のなまえ	4
設 置	設置上の注意	5
	設置方法	6
使用方法	ご使用について	9
	■運転方法	9
	■タイマー設定	10
	■お手入れ	14
	■脱臭効果が落ちたら	15
困ったときに	故障かな？ と感じたら	16
その他	保証とアフターサービスについて	17
	消耗品	18
	仕様	20

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。

●この取扱説明書には保証書が付属しております。お使いになる方がいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

ALPHASEEDS CORPORATION

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。
※お使いになる人や他の人への危険を防止するための重要事項を記載しております。

◆表示の意味

⚠ 警告	誤った取り扱いをした場合、死亡や重傷、火災発生など重大な事故が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをした場合、傷害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

◆図記号の意味

禁止：絶対に行わないでください。　　強制：指示に従って行ってください。

⚠ 警告

▼▼▼ 取り扱い上の警告 ▼▼▼

ご自分で分解・修理・改造・設置・移設・取り外しはしない

火災・漏電・感電・落下による事故の原因となります。

濡れた手で本体・コントロールボックスに触れない

感電の原因になります。

本体・コントロールボックスに水をかけたり、水洗いをしたりしない

感電の原因になります。

本体の吸込口や吹出口に指や物を入れない

本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、感電やケガ、火災の原因となります。

メンテナンス（清掃を含む）作業時にはコントロールボックス内のブレーカをOFFにすること

本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、感電やケガの原因となります。

万一異常（焦げ臭い、変な音がするなど）を感じた場合は、コントロールボックス内のブレーカをOFFにすること

火事の原因となる場合があります。お買い上げの販売店または総販売元にご連絡ください。

▼▼▼ 設置上の警告 ▼▼▼

ご自分での取付はしない

設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

仕様書または設置工事説明書の内容に従って設置すること

動作不良や事故の原因となります。必ず指定の内容で設置してください。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所、あるいはスプレーを使用する場所の近くには設置しない

万一ガス漏れが起きた場合、または可燃性スプレーがかかった場合に発火・火災の原因となります。

必ずアース接続を行うこと

感電の原因となりますので、必ず行ってください。
またアース線はガス管・水道管・電話のアース線・避雷針などに接続しないでください。

粉じんが舞っている場所、湿度の高くなる場所、蒸気や水・油のかかる場所、直射日光の当たる場所には設置しない

漏電や火災の原因になります。

⚠ 注意

▼▼▼ 取り扱い上の注意 ▼▼▼

使用しないときはコントロールボックス内のブレーカをOFFにすること

故障部品を知らずにそのまま使い続けると火災の原因となる場合があります。

本体の周囲50㎝以内に物を置かない

物や本体劣化の原因となります。また内部ファンに負荷がかかり故障や火災の原因になります。

ご自分の判断で運転設定（タイマー設定）変更をしない

部屋のオゾン濃度が高くなりすぎる場合があります。変更する場合は必ず、お買い上げの販売店または総販売元にご連絡ください。

コントロールボックスによりかかったり物を載せたりしない

故障やケガの原因になります。

フィルター交換のときはコントロールボックス内のブレーカをOFFにすること

本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、感電やケガの原因となります。

メンテナンス、清掃、フィルター交換を行う場合は、メガネ・マスク・手袋などの保護具を着用すること

着用しない場合は、ホコリの吸い込みやケガの原因になります。

▼▼▼ 設置上の注意 ▼▼▼

不安定な場所や下地のもろい場所には設置しない

落下によるケガなどの原因になります。

壁や物から50㎝以上離れた場所に設置すること

物や本体劣化の原因となります。また内部ファンに負荷がかかり故障や火災の原因になります。

火災報知器から1.5m以上離れた場所に設置すること

火災時に本機が煙を吸い込み、火災報知器が正常に動作しない場合があります。

高周波を発生する機器を使用する場所には設置しない

誤動作や故障の原因になります。

0°C以下または40°C以上になる場所や海の近くなどの塩分の多いところには設置しない

故障や消耗品の劣化促進の原因になります。

美術品や食品などの保存目的に使用しない

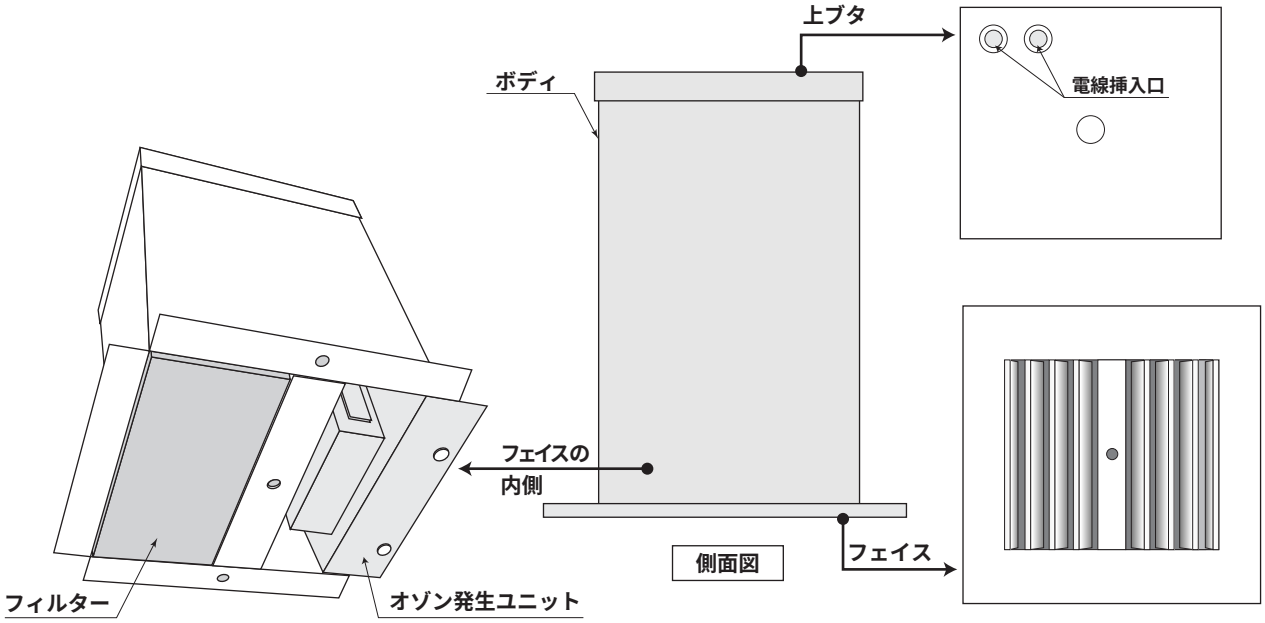
保存物に悪影響をおよぼす場合があります。

動植物から1.5m以上離れた場所に設置すること

長期間の運転により動植物に悪影響を及ぼす場合があります。

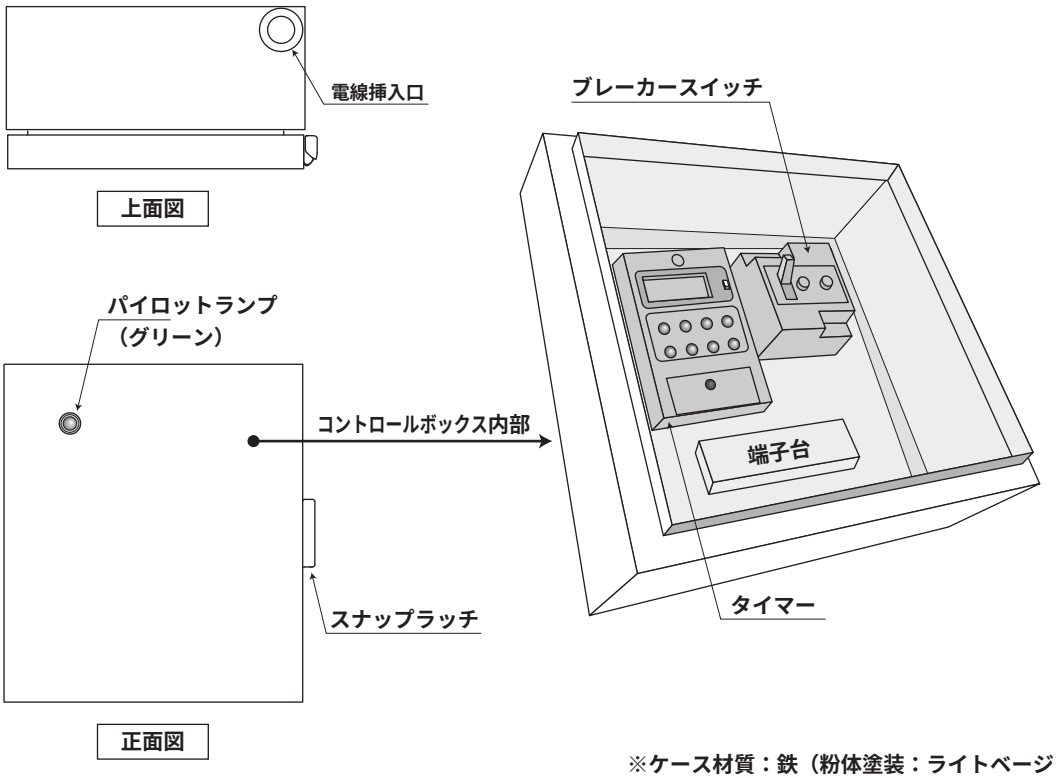
■ 各部のなまえ

本体（A40F92-02）



※材質：ボディ……ステンレス
フェイス…アルミ
（フェイス塗装：ライトベージュ）

コントロールボックス（ACNT-02D）



※ケース材質：鉄（粉体塗装：ライトベージュ）

■ 設置

設置上の注意

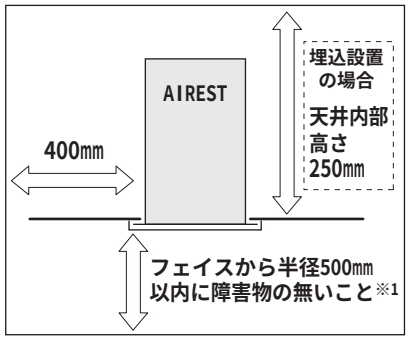
ご自分での取り付けはしない（設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください）

「安全上のご注意」をよく読み記載事項を守って設置を行うこと

●設置スペース

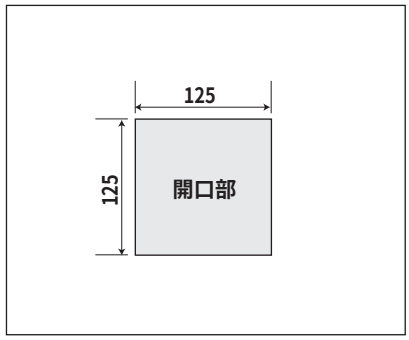
天井の材質により「埋込設置」と「吊下設置」の2種類の設置方法があります。通常石こうボードなどの天井開口が可能で天井内部の高さが250㎜以上ある場合は「埋込設置」、それ以外の場合は「吊下設置」を行います。
必ず以下のスペースを確保するようにして設置を行ってください。

AIREST周囲の必要空間

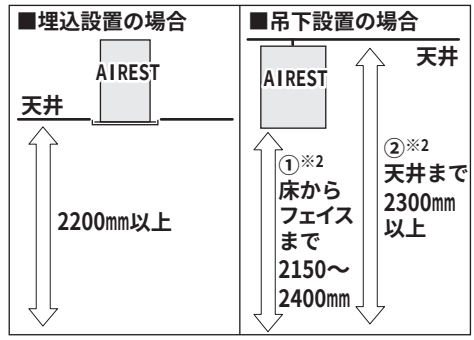


※1：換気扇・火災報知器から1.5m以上離して設置すること

天井開口寸法



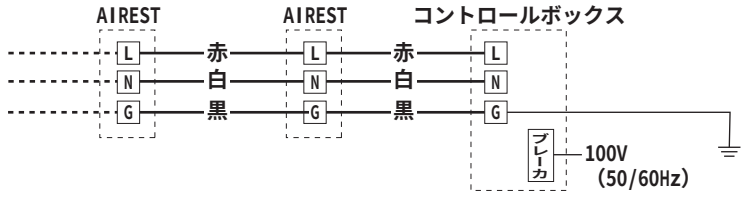
床から天井までの高さ



※2：吊下設置の場合①②がともに満たされていること

電気配線

●AIRESTは標準仕様の場合、コントロールボックス1個につき最大10個まで接続可能
●電線はVFF φ1.6 以上を使用のこと（配線の長さが20m以内の場合はこの限りではありません）
●ケーブル総延長50m以内とする（VFFφ1.6使用時）
●「電気設備に関する技術基準」に従って配線を行うこと
●「コントロールボックス」―「AIREST」配線は以下のようになります。またコントロールボックスから各脱臭機は渡り配線を行います。



埋込設置

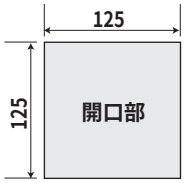
天井に穴あけが可能で、かつ天井内部の高さが250㎜以上ある場合の設置方法です。
（本体はフェイス部分が見えるのみなのですっきりとしたイメージに仕上がります）

■設置の流れ

①天井の穴あけ
②電線の配置および接続
③AIRESTの固定

1.天井の穴あけ

設置位置図面を参考に天井にAIREST設置用の穴をあける※。（穴寸法は右図参照）
※設置位置図面は参考として使用し、設置時の天井内部の状態や設置物の状況に応じて調整して取付位置を決めること。



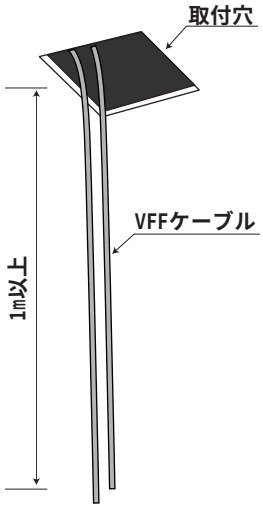
図P6-1．埋込用穴あけ寸法

2.電線の配置

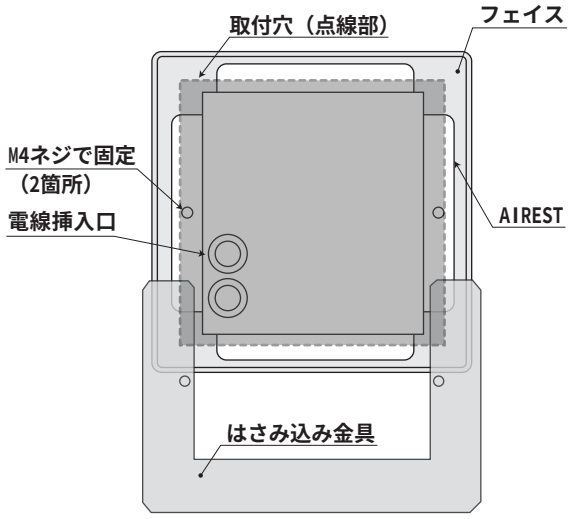
図P6-2のようにAIREST設置穴から電線が1m以上出るようにして天井内部へ配線する。
（電気配線の詳細は5ページを参照）

3.AIRESTの取付

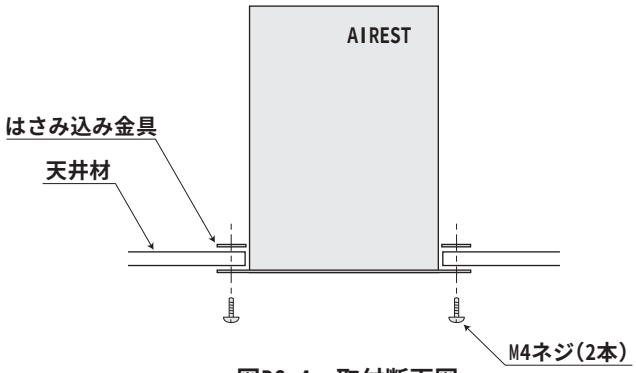
Ⅰ．AIREST上ブタの電線挿入口（図P6-3参照）から電線を挿入し接続する。
Ⅱ．はさみ込み金具を天井内部に入れ、「電線」「AIREST」を天井取付穴に挿入して、AIRESTとはさみ込み金具で天井材をはさんでネジで固定。（図P6-4参照）
※吹き出し方向（吸い込み方向）に注意して設置すること。
Ⅲ．フェイスを取り付ける。



図P6-2．電線の配置



図P6-3．取付図（上面図）



図P6-4．取付断面図

吊下設置

天井埋込ができない場合の設置方法。天井までの高さが2300㎜以上あること。
（専用金具をボルトで固定し、ボルトで天井から吊り下げます）

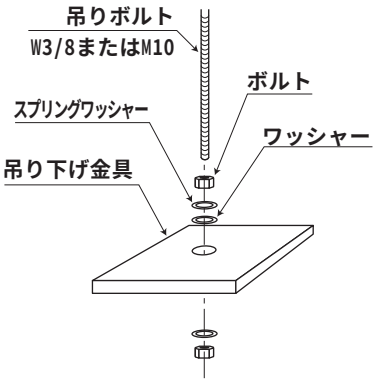
■設置の流れ

①吊りボルトの設置（現地調達）
②吊り下げ金具の取付
③電線の配置
④AIRESTの取付

1.吊りボルトの設置（現地調達/棒芯打込式アンカーでも可）

●設置位置図面を参考に吊りボルトを設置する※。（W3/8またはM10を使用）
吊りボルトは本機1台につき1本使用します。
※設置位置図面がある場合は参考として使用し、設置時の天井の状態や設置物の状況に応じて調整して取付位置を決めること。

●天井が高いなど取り付けにくい場合は、「ダクター」等を設置して本機を固定してください。



図P7-1．吊りボルトへの取付

2.吊り下げ金具※の取付（※本体に付属の縦吊り用金具または横吊り用金具）

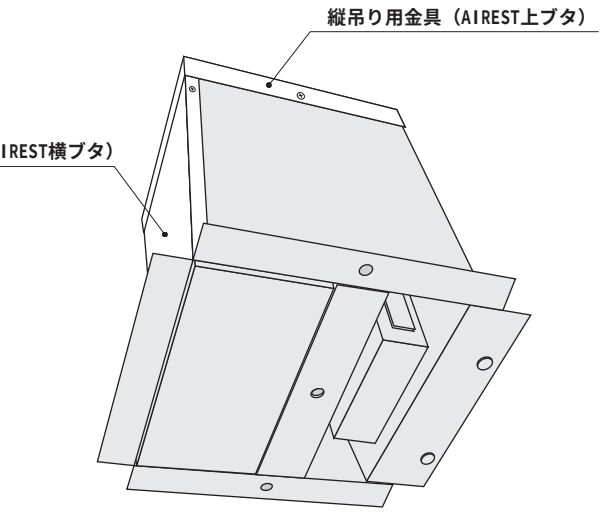
図P7-1のようにワッシャーとナットを使って、吊りボルトに吊り下げ金具を固定する。（床から脱臭機までの高さは図P7-2を参照）

3.電線の配置

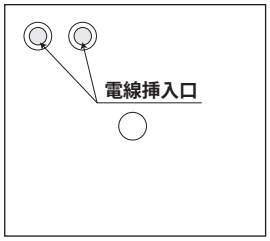
電線管等（現地調達）を使用してAIREST各機に配線する。（5ページを参照）

3.AIRESTの取付 ※吹き出し方向（吸い込み方向）に注意して設置すること。

Ⅰ．AIREST上ブタの電線挿入口（図P7-3参照）から電線を挿入し接続する。
（電気配線の詳細は5ページを参照）
Ⅱ．図P7-4のように吊り下げ金具をAIRESTに装着し、ネジ止めして固定する。
Ⅲ．フェイスを取り付ける。



図P7-2．AIREST設置の高さ
（①②がともに満たされていること）



図P7-3．AIREST上ブタ

図P7-4．吊り下げ金具取付

現地調達部品
- 吊りボルト
- 吊りボルト固定部品
  （アンカー、ダクターなど）
- ワッシャー・ナット
- スプリングワッシャー
- 電線管など

コントロールボックス設置

■設置の流れ

①設置準備
②壁面へ固定
③電線の配置および接続

1.設置の準備

Ⅰ．ボックス内の基盤を一旦取り外し、取り付けネジ用の穴をあける。(使用するネジについては「2.壁面へ固定」を参照)

Ⅱ．吊り下げ設置の場合など天井内部で電源が確保できない場合で、コンセントから電源をとる場合には、必要に応じて、ボックスに電源線用の穴をあける。

Ⅲ．設置用の取付ネジ位置を決め、取り付ける壁材に対して下記の準備をする。
コンクリート・・・・・・・アンカーW3/8またはM6～10用を打設(4ケ所)
ベニア、石こうボード・・・必要に応じて適切に補強
※設置位置図面がある場合は参考として使用し、設置場所周囲の状態に応じて調整して取付位置を決めること。

2.壁面への固定

Ⅰ．ボックスを壁面に取り付ける。その際に壁材によって下記の材料を使用すること。

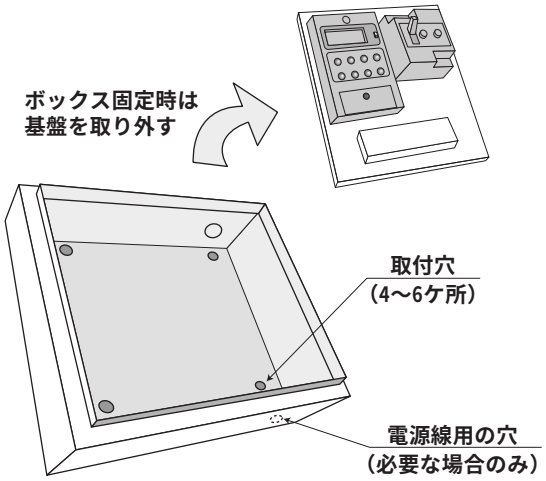
コンクリート・・・・・・・打設したアンカー用のナットで固定
ベニア、石こうボード・・・M4.5以上の太さのネジ（6ヶ所）

Ⅱ．基盤をボックスに取り付ける。

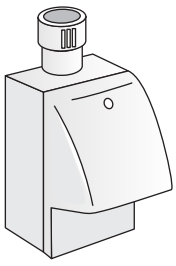
3.電線の配置および接続

Ⅰ．電気配線が露出する場合は、部屋の雰囲気に合わせて電線管やモールなどを用いて露出箇所を隠す。
（廃棄物置場で壁材がコンクリートの場合は、基本的に電線管を使用すること）

Ⅱ．脱臭機本体への電線および電源線を接続する。（配線詳細は5ページの「電気配線」を参照してください）
※電源をコンセントからとる場合は露出スイッチボックスを使用すること。
※必ずアース接続を行うこと。



図P8-1．ボックスの取り付け



図P8-2．露出スイッチボックス例

現地調達部品
・取付用ネジ／ボルト
・取付用ネジ／ボルト固定部品
（アンカー、カベ補強材など）
・電線管／モールなど

■ 使用方法

ご使用について

「安全上のご注意」をよく読み記載事項を守って使用すること

■ 本システムは次の流れ図に沿ってご使用ください。

故障や事故が起きた → YES → コントロールボックス内のブレーカをOFFにして「お客様相談センター」までご連絡ください

NO ↓

保障期間中または保守契約期間中である → YES → 保障期間や保守契約期間中は、季節や設置場所の状況に応じてシステムが最適な状態に設定されているため、運転操作をする必要はありません。
ただし十分な脱臭効果を維持するため、3ヶ月に1度「お手入れ」を実施してください。
（お手入れの方法は、14ページを参照してください）

NO ↓

必要に応じて以下の項目の作業を行ってください

運転方法

本システムはコントロールボックスにより脱臭機を一括操作する仕組みになっております。従って運転操作は全てコントロールボックスにより行ってください。

■運転を開始する（各部のなまえについては4ページをご参照ください）

①ブレーカのスイッチを「入」にする→コントロールボックスおもてのグリーンランプが「点灯」

②タイマーの設定をする→次頁「タイマー設定」参照

③タイマーの切り替えスイッチを「自動」または「入」に設定する※

※脱臭機はタイマーでON/OFFの繰り返し動作をおこない、室内オゾンの濃度を調整します。

設定の目安：冬（10月中旬～翌5月下旬）：4分運転　2分停止
夏（5月下旬～10月中旬）　：連続運転
※運転時間はタイマーのインターバルで設定してください。

■運転を停止する

ブレーカのスイッチを「切」にする→コントロールボックスおもてのグリーンランプが「消灯」
<<使用しない場合や異常を感じた場合は、必ず運転を停止させてください>>

■異常時の対応

本体内部のユニットおよびコントロールボックスに安全装置を組み込んでおり、異常時にはユニットの停止または全システムが停止するようになっております。しかし万が一「機器から煙が出る」「異音がする」などの異常を感じた場合はコントロールボックスのブレーカを「切」にして、そのうえ「お客様相談センター」までご一報ください。

お客様相談センター

お問い合わせはこちらまで

フリーダイヤル　家は　一番良いさ
0120-188-143

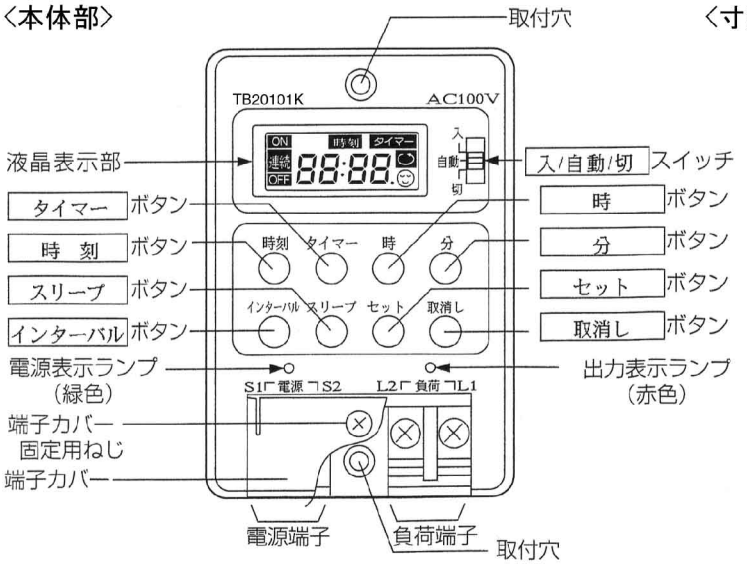
つながりにくい場合は・・・
TEL：03-3463-4308
FAX：03-5457-0381

受付時間：9:00～17:00　月曜～金曜（祝日・弊社休業日を除きます）

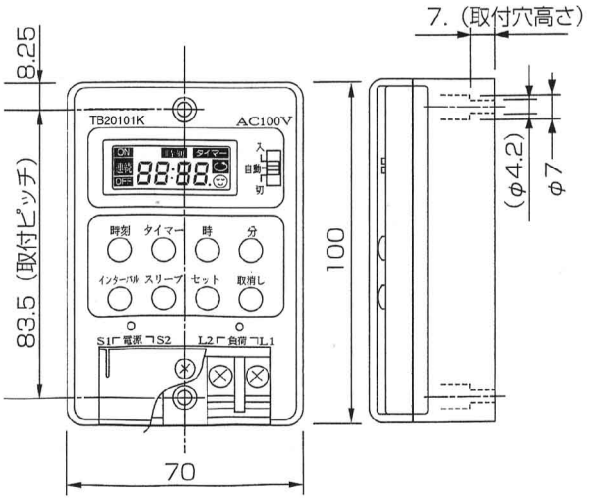
タイマー設定 <Panasonic 電子式タイムスイッチ 品番TB20101K 取扱説明書の一部または全部の内容を掲載しております>

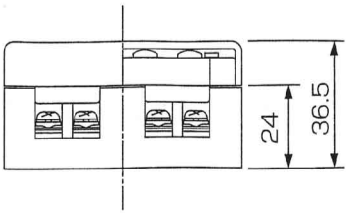
1．タイマー各部の名前・寸法図

〈本体部〉



〈寸法部〉





〈液晶表示部〉 全点灯の場合を示します。

2．時計の合わせ方

●設定は 時刻 ボタンを押しながら行います。

【例】午後8時30分に合わせる場合

① 時刻 ボタンを押す

時計合わせが完了するまで押し続けます。

② 時報に合わせて セット ボタンを押し、0秒合わせをする。

セット ボタンを押した時点で0秒からスタートします。

③ 時・分 ボタンで時・分を合わせる。

1秒以上押し続けると早送りします。

④ 時刻 ボタンをはなす。

3．タイマーの設定

●設定は タイマー ボタンを押しながら行います。

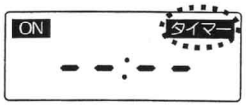
●プログラムは ON/OFF の1セット設定できます。

【例】「午前8:30 ON、午後5:00 OFF」を設定する場合

① タイマー ボタンを押す。

タイマー設定がすべて完了するまで押し続けます。

ON時刻設定画面になります。



② 時・分 ボタンでON時刻を選び

セット ボタンを押す。

OFF時刻設定画面になります。

③ 時・分 ボタンでOFF時刻を選び セット ボタンを押す。

②で設定したON時刻設定画面になります。

④ 設定が終われば タイマー ボタンをはなす。

ご注意

●ON時刻のみ、またはOFF時刻のみの設定も有効です。

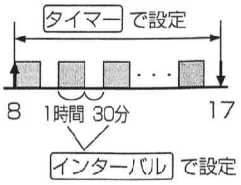
●ONとOFFを同一時刻に設定した場合は、OFF動作が優先されます。

4．インターバルの設定

タイマーで指定した時間帯に、インターバルで指定したON時間とOFF時間をくり返すことができます。

【例】午前8:00～午後5:00の間、1時間ON、30分OFFをくり返す場合

タイマー ON 時刻	8:00
タイマー OFF時刻	17:00
インターバルON時間	1:00
インターバルOFF時間	0:30



(1) インターバル でON時間・OFF時間を設定する。

- 設定は インターバル ボタンを押しながら行います。

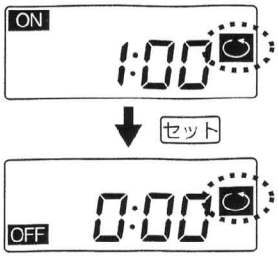
①インターバル ボタンを押す

インターバル設定がすべて完了するまで押し続けます。
インターバルON時間設定画面になります。

② 時・分 ボタンでON時間を選び セット ボタンを押す

インターバルOFF時間設定画面になります。

インターバルON時間・OFF時間は1分～99時間59分まで1分単位で設定できます。



③ 時・分 ボタンでOFF時間を選び セット ボタンを押す

②で設定したON時間設定画面になります。

セット

④ インターバル ボタンをはなす。

(2) タイマー でインターバル開始時刻と終了時刻を設定する。

- 「3. タイマーの設定」を参照して、タイマー で「午前 8:00 ON、午後 5:00 OFF」を設定してください。

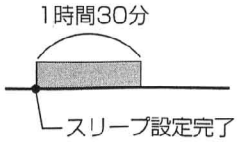
- インターバル動作中は右図のように マークが点灯します。

- インターバル動作は、入・自動・切 スイッチで開始・終了させることもできます。詳細は「8. 使用例」をご覧ください。

5．スリープの設定

スリープ設定が完了した時点より、設定した時間だけONすることができます。

【例】スリープで1時間30分ONさせる場合



- 設定は スリープ ボタンを押しながら行います。

① スリープ ボタンを押す。

スリープ設定がすべて完了するまで押し続けます。
スリープ時間設定画面になります。

② 時・分 ボタンでスリープ時間を選び セット ボタンを押す。

スリープ時間は1分～99時間59分まで1分単位で設定できます。

③ スリープ ボタンをはなす。

この時点からスリープ動作が実行されます。

6．入・自動・切スイッチの操作方法

(1) 連続入/切動作・・・画面に 連続 が表示されます。

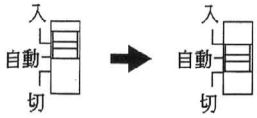
入・自動・切スイッチで手動入/切ができます。

「入」・・・プログラムに関係なく連続　入
「切」・・・プログラムに関係なく連続　切
「自動」・・・プログラム通りの出力

(2) モーメンタリー動作

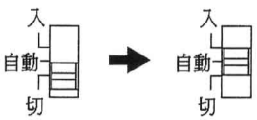
① モーメンタリーON動作

入・自動・切スイッチをいったん「入」にした後「自動」にすると、出力がONになり、以降はプログラム通り動作します。



② モーメンタリーOFF動作

入・自動・切スイッチをいったん「切」にした後「自動」にすると、出力がOFFになり、以降はプログラム通り動作します。



7．タイマー、インターバル、スリープの確認・変更・取消

(1) タイマー・インターバルの確認・変更

① タイマー（または インターバル ）ボタンを押す。
確認・変更がすべて完了するまで押し続けます。
ON時刻（時間）が表示されます。

② セット ボタンを押す。
押すたびにONとOFFが交互に表示されます。

変更する場合

③ 時・分 ボタンで変更したい内容に上書きする。

④ セット ボタンを押す。

⑤ 確認・変更が終われば タイマー （または インターバル ）
ボタンをはなす。

(2) タイマー・インターバルの取消

① 確認の手順で取消したいプログラムを表示させる。
取消がすべて完了するまで タイマー （または インターバル ）
ボタンを押し続けます。

② 取消し ボタンを押す。
表示が「−−:−−」になり取消が完了します。
タイマーは、ONとOFFが同時に取消されませんので
両方とも取消したい場合は各々取消してください。
インターバルはONとOFF同時に取消されますので
いずれか一方を取消してください。

③ 取消が終われば タイマー （または インターバル ）
ボタンをはなす。

(3) スリープの確認・変更・取消

① スリープ ボタンを押す。
確認・変更・取消がすべて完了するまで押し続けます。
スリープ動作の残り時間がカウントダウンされています。

② 変更したい場合は 時・分 ボタンで上書きし、
セット ボタンを押す。

③ 取消したい場合は 取消し ボタンを押す。
表示が「0：00」になり、取消が完了します。

④ 確認・変更・取消が終われば スリープ ボタンをはなす。

8．使用例

【例1】タイマー動作
●午前8:00　ON　午後 5:00　OFF

〔設定〕

タイマーON 時刻	8:00
タイマーOFF時刻	17:00

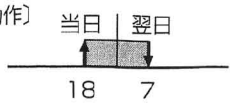
〔動作〕

【例2】タイマー動作（日渡り）
●当日　午後6:00　ON、翌日午前7:00　OFF

〔設定〕

タイマーON 時刻	18:00
タイマーOFF時刻	7:00

〔動作〕

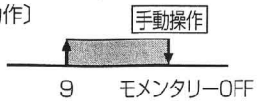


【例3】ON時刻と手動操作の組合せ（タイマーでONし、手動でOFF）
●毎朝9:00にON、夕方は手動でOFFする場合

〔設定〕ON時刻のみ設定します

タイマーON 時刻	9:00
タイマーOFF時刻	−−:−−

〔動作〕

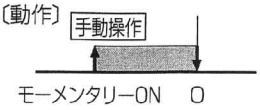


【例4】手動操作とOFF時刻の組合せ（手動でONし、タイマーでOFF）
●夕方手動でON、深夜0:00にタイマーでOFFする場合

〔設定〕OFF時刻のみ設定します

タイマーON 時刻	−−:−−
タイマーOFF時刻	0:00

〔動作〕

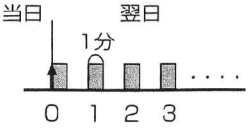


【例5】インターバル動作（タイマーでスタート、停止させない）
●午前 0:00より1時間に1分だけONする動作をずっとくり返す(停止させない）場合

〔設定〕

タイマー ON 時刻	0:00
タイマー OFF時刻	−−:−−
インターバルON時間	0:01
インターバルOFF時間	0:59

〔動作〕



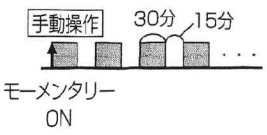
●決まった時刻に停止させたい場合は、タイマーOFF時刻を設定してください。
●手動で停止したい場合は、モーメンタリーOFFにより停止させてください。

【例6】インターバル動作（手動でスタート、停止させない）
●手動操作で30分ON,15分OFFのくり返しをスタートさせる（停止させない）場合

〔設定〕

タイマー ON 時刻	−−:−−
タイマー OFF時刻	−−:−−
インターバルON時間	0:30
インターバルOFF時間	0:15

〔動作〕



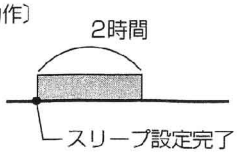
●決まった時刻に停止させたい場合は、タイマーOFF時刻を設定してください。
●手動で停止したい場合は、モーメンタリーOFFにより停止させてください。

【例7】スリープ動作
●今すぐ（スリープ設定直後より）ONし、2時間経過後にOFFにしたい場合

〔設定〕

スリープ時間	2:00

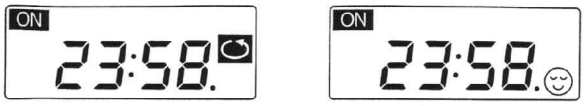
〔動作〕



9．動作上のご注意

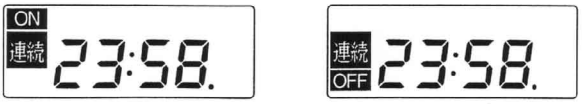
1. タイマー設定で、ON時刻とOFF時刻を同一時刻に設定した場合は、OFF動作が優先されます。
2. タイマー設定で現在時刻がON時刻とOFF時刻の間となる場合は、その当日からプログラム通り出力します。
ただし、ON時刻のみを設定した場合は、すぐに出力しません。
次のON時刻になったら出力します。
3. インターバル動作またはスリープ動作が実行されると、「インターバル」表示または「スリープ」表示が点灯します。

【例】　インターバル動作中　　スリープ動作中

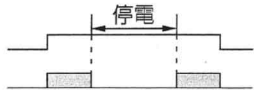


4. 連続ON動作または連続OFF動作が実行されると、「連続」表示が点灯します。この時インターバルまたはスリープ動作中であった場合は「インターバル」または「スリープ」表示は消灯します。

【例】　連続ON動作中　　連続OFF動作中

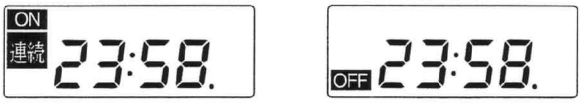


5. 停電中は出力「OFF」となります。
復電後は、プログラムに従った出力となります。



停電中は出力表示も「OFF」表示となります。

【例】　通電中　　停電中



10．故障と思われる前に

現　象	考えられる原因と処置
負荷が動作しない	TB20101, TB20201, TB2012 の出力は無電圧接点出力です。出力端子間に直接負荷を接続しても動作しません。結線を確認してください。
設定後「ON」しない(出力表示不点灯)	タイマー設定で、ON時刻のみを設定した場合は、すぐに出力しません。次のON時刻になったら出力します。
設定通り動作しない	時計がくるっている。正しく調整してください。
	時計を12時間制として設定している。24時間制(0〜23時)に修正してください。
	モーメンタリー操作をした。再度モーメンタリー操作でご希望の状態にしてください。
入・自動・切スイッチを「入」にしてもONしない	電源が入っていません。電源を入れてください。
インターバル動作しない	タイマー設定またはモーメンタリー操作で起動をかけていない。いずれかで起動してください。
	タイマー設定で、ON時刻のみを設定した場合は、すぐに出力しません。次のON時刻になったら出力します。
時計がくるう	温度の高いまたは低い場所に設置されている。周囲温度は25℃前後にしてください。
「00：00」で点滅している	停電で発生した場合は、内蔵電池の寿命です。商品をお取り替えください。

お手入れ

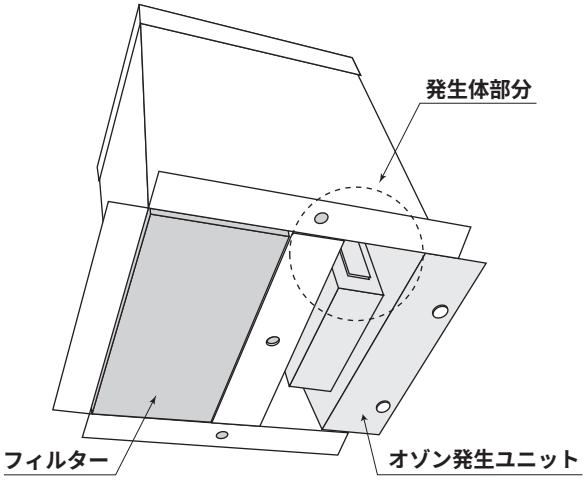
保証期間や保守契約期間中は年に1度定期メンテナンスを行いますが、快適な脱臭効果を維持するために3ヶ月に1回程度必ず実施してください。

メンテナンス、清掃、フィルター交換を行う場合は、メガネ・マスク・手袋などの保護具を着用すること（着用しない場合は、ホコリの吸い込みやケガの原因になります）

■お手入れの手順

下図の流れでお手入れを行ってください。

コントロールボックスの電源を切る
↓
フェイスの取り外し
↓
発生体のそうじ
↓
運転確認
↓
フィルターの取り付け
↓
フェイスの取り付け



図P14-1．AIRESTお手入れ部分

1.コントロールボックスの電源を切る

ブレーカのスイッチを「切」にする → コントロールボックスおもてのグリーンランプが「消灯」していることを確認
注）本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、必ず行うこと。

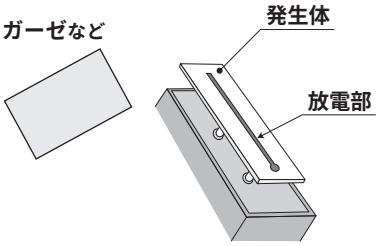
2.フェイスの取り外し

①脱臭機フェイスの中心にあるネジを外し、フェイスを取り外す
注）フェイスはネジを取るとそのまま外れるため、落下しないよう注意すること。

②フィルターを取り外す
指でつまんで引っ張ると簡単に取り出せます

3.発生体のそうじ

オゾン発生ユニットの「発生体」上部の放電部分周辺をアルコールをつけたガーゼなどで数回よくこすり、付着汚れを落とす（図P14-2参照）
注）あまり力を入れすぎると発生体破損の原因となるのでご注意ください。
何も付着していないように見えても、窒素化合物などが付着しており、脱臭効果の落ちる原因となるため必ず行ってください。



図P14-2．オゾン発生体

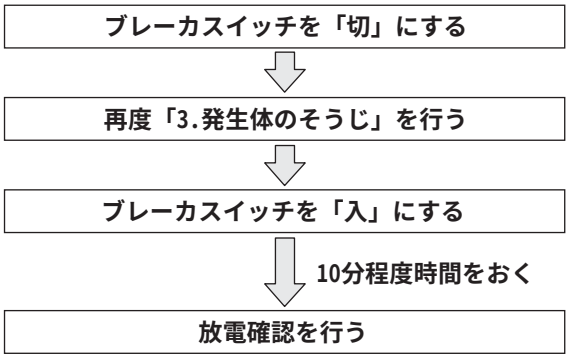
4.運転確認

①ブレーカスイッチを「入」にする
②タイマーのスイッチが「自動」の場合は「入」にする
③オゾン発生体の放電部が紫色に光っている（放電している）ことを確認する
注）このとき発生体にふれたり、脱臭機内部に手や物をいれないこと → ケガや感電の原因となります。

④機械内部から異音ががしていないことを確認する
→ FANが故障していたり異物が混入していたりした場合「カラカラ」という音が出ることがあります
注）このとき発生体にふれたり、脱臭機内部に手や物をいれないこと → ケガや感電の原因となります。

お手入れつづき

⑤ ③で放電部が光らない場合は、以下の流れでもう一度確認を行ってください。



それでも状態が変わらない場合は、発生ユニットの寿命または故障が考えられます。発生ユニットの交換または修理については18ページ「消耗品」をご参照ください。また交換・修理のご依頼をご希望の場合は20ページ「お客様相談センター」までご連絡ください。

5.フィルターおよびフェイスの取り付け

①再度ブレーカスイッチを「切」にする
②フィルターを取り付ける
　図P14-1の「フィルター」の空き部分に替フィルターを軽く押し込む
③フェイスを取り付ける
　ネジでフェイスを固定する
　注）あまり強く締め付けないように注意してください。フェイスが変形する原因となります。

6.運転開始

①再度、ブレーカスイッチを「入」にする
②タイマーのスイッチを「自動」に切り替える（「入」で使用する場合はそのまま運転させてください）

脱臭効果が落ちたら

脱臭効果が落ちる原因として次のことが考えられます。（可能性の高い順に並べてあります）

①発生体の汚れ付着による放電不足

（解決方法）
前頁の「お手入れ」を参照し、発生体の放電部分の汚れをアルコールを付けたガーゼ等でよく拭きとる。

②発生体の寿命または損傷

（解決方法）
①の方法で解決できなく、かつ連続運転時でFANが動作してる場合（FANの動作は音で確認）はこの原因が考えられます。
この場合、発生ユニットの交換または修理が必要です。「その他―消耗品」のページをご参照ください。
交換・修理のご依頼を希望の場合は20ページ「お客様相談センター」までご連絡ください。

③電源の入れ忘れ

（解決方法）
お手入れなどで電源を切ったままになっている場合があります。ブレーカスイッチを「入」にしてください。
「入」にならない場合や「入」にしてもすぐに電源が落ちてしまう場合は、システムの故障が考えられます。
「④機器が故障している」をご参照ください。

④機器が故障している

（解決方法）
①～③の内容にあてはまらない場合は、システムの故障が考えられます。ブレーカスイッチを「切」にして、
20ページ「お客様相談センター」までご連絡ください。

■ 困ったときに

故障かな？ と感じたら

万一異常（こげ臭い、変な音がするなど）を感じた場合は、コントロールボックス内のブレーカを0FFにすること

火事の原因となる場合があります。お買い上げの販売店または総販売元にご連絡ください。

不具合の症状とその対応方法の一覧を以下に挙げます。

注）保証期間や保守契約期間中の運転設定変更や消耗品交換は、定期メンテナンス時に実施いたしますので、ご自分で行う必要はございません。ご自分での設定変更や脱臭機の分解・改造が原因で部品が破損・劣化した場合は、期間内でも有償修理となる場合がありますので、ご注意ください。

症状	原因と対策
脱臭効果が無くなってきた	15ページ「脱臭効果が落ちたら」をご参照ください 注）季節（室内温度）によりニオイの原因物質の空気中濃度が変化します。冬は運転時間※を短めに、夏は「連続運転」に設定してください。基本設定時間は次のとおりです。ただし設置場所の条件により脱臭効果は変わりますのであくまでも目安としてご活用ください。 冬（10月中旬～翌5月下旬）：4分運転　2分停止 夏（5月下旬～10月中旬）　：連続運転 ※運転時間はタイマーのインターバルで設定してください。
オゾン臭が強い	タイマーにて運転時間（インターバル）を短くしてください。 操作方法は10ページ「タイマー設定」をご参照ください。
こげ臭い 脱臭機やコントロールボックスから煙がでている	故障が考えられます。至急コントロールボックスのブレーカスイッチを「切」にして20ページ「お客様相談センター」までご連絡ください。
「バチバチ」「ガラガラ」など通常の運転音以外の変な音がする	故障が考えられます。至急コントロールボックスのブレーカスイッチを「切」にして20ページ「お客様相談センター」までご連絡ください。
フェイス周辺の壁や天井が黒く汚れる	空気中の汚れが付着していることが原因です。定期的にぬれ布巾などで拭き取り掃除をしてください。（掃除の際はかならずコントロールボックスのブレーカスイッチを「切」にすること）
フェイスが湿っている フェイスに水滴がついている	室内の湿度が高くなったことが原因で、結露が生じたと考えられます。コントロールボックスのブレーカスイッチを「切」にして、乾いた布巾などでフェイス表面をふき取ってください。

■ その他

保証とアフターサービスについて

■お買い上げ日から1年間は、下記の規定内容に従って無料修理をさせていただきます。なお保証期間中に故障が発生した場合は「お客様相談センター」までご連絡ください。修理に際しては本書をご提示ください。

■保証期間終了後は、有料にて修理および消耗品の交換をいたします。ご不明な点がございましたら、下記「お客様相談センター」へご一報ください。
2年目以降、保守契約をしていただいた場合、契約期間中は保証終了後でも保証期間中と同様の内容で修理が受けられます。

保守契約

脱臭・抗菌システムの効果を常に最高レベルで維持するために、お客様には保守契約をしていただくことをお勧めしております。スタンダードまたはモアバリュー設置プランの場合は、ご購入年月日より2年目の保守サービスを無料で行います。（3年目以降は有料となります）

<保守契約内容>

①フェイスおよび内部の清掃
②フィルター交換
③オゾン発生体の点検・交換
④各部動作確認
⑤各部品の傷・割れ等の点検・交換
⑥その他システム上の不備・故障への対応

※①～⑤に関しては、年に1度の定期検査時にまとめて行います。
※⑥に関しましては、保証期間と同様の内容で、出張修理をさせていただきます。（無料修理規定参照）

保守契約料金（参考）

設置台数	年払い料金	1ヶ月あたり
1	28,350円	2,363円
2	46,200円	3,850円
3	64,050円	5,338円
5	89,250円	7,438円
10	143,850円	11,988円

※詳細は「お客様相談センター」までご連絡ください

無料修理規定

1．正常なご使用で故障した場合において、お買い上げ日から1年間は無料修理をさせていただきます。ただし本紙裏面にお買い上げ日および証明印の無い場合は、保証外となる場合がありますので、ご購入後に必ずお確かめください。

2．保証期間中でも次の場合は有料修理になります。
(a) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(b) お客様、あるいは第三者による輸送などが原因の故障及び損傷。
(c) 火災、天災地変（地震、風雷害、落雷など）、煙害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷。
(d) 本書のご提示がない場合。
(e) 本書の字句が書きかえられた場合。
(f) 車両、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障及び損傷。

3．遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
4．ご転居の場合には事前に下記相談センターへご連絡下さい。
5．本規定はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お客様相談センター

お問い合わせはこちらまで

フリーダイヤル　家は　一番良いさ
0120-188-143

つながりにくい場合は・・・
TEL：03-3463-4308
FAX：03-5457-0381

受付時間：9:00～17:00　月曜～金曜（祝日・弊社休業日を除きます）

消耗品

消耗品は以下のとおりです。保証期間・保守契約期間中の交換および修理代金は無料です。

名称	価格	詳細（交換時期など）
フィルター　10枚	1,000円	3ヶ月毎の交換をお勧めします。
オゾン発生ユニット	9,000円	約1年毎の交換をお勧めします。 こちらにユニットをお送りいただいた場合は、状態を確認したうえで、特に問題無ければ発生体交換のみで脱臭効果を回復できる場合があります。 その場合は「オゾン発生体交換」の料金をご参照ください。
オゾン発生体交換 （交換工賃＋材料費）	3,000円	約1年毎の交換をお勧めします。ユニットをお送りいただき、状態を確認したうえで、特に問題無ければ発生体交換のみで脱臭効果を回復できます。 ただし、状態次第ではユニットごと交換する必要がありますので、その場合は「オゾン発生ユニット」の料金となります。
※オゾン発生ユニット交換の場合、先にユニットをお送りいただいた場合は、料金を「1,000円」割引させていただきます。		

■オゾン発生ユニットの交換

交換時は、メガネ・マスク・手袋などの保護具を着用すること
着用しない場合は、ホコリの吸い込みやケガの原因になります

1．オゾン発生ユニットの取り外し

①コントロールボックスの電源を切る

ブレーカのスイッチを「切」にする → コントロールボックスおもてのグリーンランプが「消灯」していることを確認

注）本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、必ず行うこと

②フェイスの取り外し

脱臭機フェイスの中心にあるネジを緩め、フェイスを取り外す

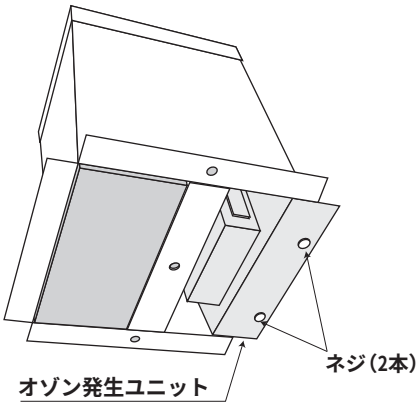
注）フェイスはネジを外すとそのまま外れるため、落下しないよう注意すること

③ユニットの取り外し

ⅰ.図P18-1の2本のネジを外し、ユニットを下方向へゆっくりと引き出す

注）ネジを外すとそのまま外れるため、落下しないよう注意すること

ⅱ.図P18-2のコネクタを外し、ユニットを取り出す



図P18-1．オゾン発生ユニット

2．オゾン発生ユニットの取り付け

①コントロールボックスの電源を切る

ブレーカのスイッチを「切」にする → コントロールボックスおもてのグリーンランプが「消灯」していることを確認

注）本体内部には高電圧放電部やファンがあるため、必ず行うこと

②ユニットの取り付け

ⅰ.図P18-2のコネクタを接続し、ユニットを本体に挿入する。

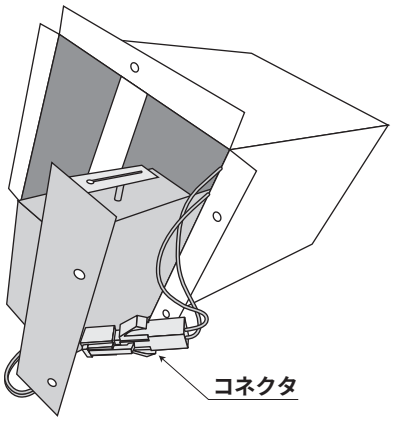
注）はじめにコネクタ部を挿入し、つづけてユニットを挿入すること

ⅱ.ユニットを手で押さえながら2本のネジで固定する

注）線がユニットと本体のエッジ部分に挟まっていると、皮膜が破損し感電する恐れがあります。十分注意してください。

③フェイスの取り付け

フェイスを脱臭機に取り付け、中心をネジで締めつけ固定する



図P18-2．オゾン発生ユニット詳細

MEMO

仕様

	本体	コントロールボックス
型名	A40F92-02	ACNT-02D
電源	AC100V	
定格消費電力	7W	2W
定格周波数	50Hz・60Hz共通	
本体寸法	W160×D160×H210mm	W200×D120×H250mm
重量	1.4kg	3.8kg
標準脱臭面積※1	1台につき 5m²（天井高2.4mの場合）	本体を10台まで接続可能
オゾン発生量※2	40±5 mg/h（20℃・65%RH）	—
送風機風量	最大 80 m³/h	—
送風機静圧	最大 40 Pa	—
運転音	最大 46 dB（騒音レベル）	—
運転設定※3	コントロールボックスにて制御	■24時間タイマー ■on/off繰り返し
安全機能	コントロールボックスにて制御	回路内の過電流/過負荷で運転停止
設置環境	5〜30℃・85%RH以下、ただし結露しないこと	
設置場所	屋内の天井面（換気扇・火災報知器から1.5m以上離すこと）	屋内壁面（直射日光が当たらず、発熱体が無い場所。また周囲に可燃性/耐酸性/腐食性のガスが無い場所
設置方法	天井埋込（または吊下）方式	壁面にネジにて固定
配線	VFF φ1.6 以上を使用のこと〈ケーブル総延長50m以内（VFF φ1.6使用時）〉	

※1 設置場所の条件（臭気の強さやお部屋の構造など）によって脱臭面積は変わります。
※2 オゾン発生量は湿度により多少変化いたします。湿度が高い場合は少なく、低い場合は多くなります。
※3 ご自分の判断で変更なさらないでください。オゾン濃度が高くなりすぎる場合があります。設定変更をご希望の場合は、必ず「お客様相談センター」までご連絡ください。

■故障・修理についてのお問い合わせはこちらです

お客様相談センター

お問い合わせはこちらまで

フリーダイヤル　家は　一番良いさ

0120-188-143

つながりにくい場合は・・・

TEL：03-3463-4308
FAX：03-5457-0381

受付時間：9:00〜17:00　月曜〜金曜（祝日・弊社休業日を除きます）

■保証情報

製品情報	脱臭機	AIREST	型名	台	保証期間	■販売日より1年間有効	印
	制御部	コントロールボックス	型名	台		販売日　年　月　日	

ALPHASEEDS 2009.4

アルファシーズ株式会社
ALPHASEEDS CORPORATION
本社　〒150-0044　東京都渋谷区円山町23-2（アレトゥーサ渋谷ビル）
http://alphaseeds.jp/